



学 校 便 り

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashidai/>

5月号

横浜市立東台小学校

電話（571）0812

平成31年4月26日

一人ひとりが輝くために

副校長 高山 和宣

風薫り鳥歌う5月が近づきました。あちらこちらで鯉のぼりが悠然と青空を泳いでいます。さて、本年度が始まりひと月が経ちましたが、子どもたちも新しい学年に慣れ始め、鯉のぼりに負けず元気いっぱい活動しております。

子どもたちは4年生になるとクラブに、そして5年生になると委員会に所属し、6年生はそのまとめ役として活動するようになります。東台小学校では、委員会にしてもクラブにしても子どもが自ら人とふれあい、自主性や自己有能感を高め、改善し続ける力を伸ばしていくことを大きなねらいの一つとしています。

放送委員会の児童も毎日お昼の時間になると「6年の〇〇です。先生、放送室の鍵を借りにきました。」と使命感に燃え目を輝かせながら職員室にやってきます。その他の委員会やクラブでも生き生きと活動する姿があちらこちらで見られますが、児童に子どもにとって見れば、初めてのことも多く日々チャレンジの連続です。

場所や活動等は違っても、4、5、6年生の一人ひとりが、自分たちの生活をよりよいものにするため、それぞれに意味のある役割や使命を担って、自分で考え、友達と協働し真剣に活動を重ねチャレンジを重ねています。きっとその前向きな取組が東台小学校を支え動かしていると思います。

『成功』の反対語は辞書を見ると『失敗』とありますが、実生活の中では『成功』の反対の意味は『挑戦しないこと』なのかもしれません。自分の目標に向けて努力を重ねたとしてもすべてが思い通りになるかは決まっていることではありません。しかし、『どうせできないから』と思ってチャレンジしなければ絶対に目標は達成できません。

東台小学校の学校教育目標もある『一人ひとりが輝く光の子』の実現に向けてこれからも東台小学校のすべての子どもがチャレンジし続けてほしいと願っています。

5月6月は4年生は野島体験学習、5年生は赤城体験学習、6年生は日光へ修学旅行に行きます。きっとこの学習でも子どもたちの素晴らしい姿が見られることでしょう。

東台小学校の教職員も、失敗したことを問う前にチャレンジしたことをまず褒める教育を進めていきたいと考えています。

